

令和 5年度予算見積調書

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4191

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
P30	畜政推進対策事業	一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	昭和35年度～	根拠法令	執行機関の附属機関に関する条例、家畜商法第3条、家畜改良増殖法第2条、酪肉振興法第2条の3、養蜂振興法第3条、他	針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2 SDGsターゲット 2-4	
1 事業概要	畜産関係法令に基づく指導等による畜産行政の円滑な推進と本県の畜産振興のため必要となる農家指導などを実施する。 ア 畜産全般推進指導 3,977千円 イ 畜産経営技術指導事業 4,166千円 ウ たい肥利用促進事業 204千円	5 事業説明 (1) 事業内容 畜産行政の円滑な推進と、県内畜産の振興を図るため、畜産関係法令に基づく指導、畜産経営技術指導等を実施する。 (2) 事業計画 ア 畜産全般推進指導 3,977千円 (ア) 畜産関係法令に基づく指導、許可、届出、登録等の事務 (イ) 家畜改良増殖法に基づく技術者養成(家畜人工授精師等講習会) (ウ) 畜産振興のための支援 (エ) 畜産環境保全に係る試験研究 (オ) 飼料用イネ種子の委託生産(令和6年度播種用) イ 畜産経営技術指導 4,166千円 (ア) 経営分析に基づく経営管理、経営改善指導を行い、畜産経営の安定化を図る。 (イ) 乳用牛の改良、資質向上のために必要な支援及び指導を行う。 (ウ) 本県畜産のPR活動 ウ たい肥利用促進事業 204千円 良質な畜産たい肥の生産・流通を支援し、家畜排せつ物の適正な利用を推進する。 (3) 事業効果 畜産行政の円滑な推進と畜産環境問題の発生防止により、本県畜産農家の経営の安定を図ることができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 県域民間団体と連携し事業を実施する。					
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10) イ (県10/10) ウ (県10/10)						
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用)(区分)農業行政費(細目)生産流通振興費(細目)畜産振興費						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×6.7人=63,650千円						
予算額		財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	8,347	382	291			7,674	59
前年額	8,288	138	290			7,860	

事業内訳書

事業名	畜政推進対策事業	
単位事業名	畜産全般推進指導	予算額 3,977千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	20	0	家畜人工授精師講習会等講師謝金
旅費	1,057	191	全国会議・研修等旅費、県外・県内旅費
需用費	1,660	△10	事務用品、印刷費、講習会用消耗品、採材調査用資材・医薬品材料費、試験研究経費(試薬資材、燃料費、電気代、修繕費)
役務費	174	△40	郵券、通信運搬費
委託料	1,009	0	飼料用稲種子確保委託、高糖度飼料稲展示委託
使用料及び賃借料	20	0	会議室借上料
負担金、補助及び交付金	37	△32	牛群検定研修、牛群検定指導者研修、畜産環境対策技術研修
合計	3,977	109	

単位事業名	畜産経営技術指導事業	予算額	4,166千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	4,166	0	畜産経営技術指導業務委託
合計	4,166	0	

単位事業名	たい肥利用促進事業	予算額	204千円
-------	-----------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	14	△3	県内旅費
需用費	189	△46	試薬・資材費、試験研究用燃料費、資料印刷費
役務費	1	△1	郵券等
合計	204	△50	